

# カワラゴミムシ

*Omophron aequalis* Morawitz

## コウチュウ目カワラゴミムシ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー なし

### 選定理由

県内分布が局地的で、採集記録も少ない。数年前まで安定した生息地があったが、現在は確認されていない。

### 形態

体長は5.5~6.5mm。テントウムシのような丸い体形でやや扁平、脚は長い。大顎と複眼は大きく、触角は細くて体長の半分弱である。体色は、白黄色の地に緑色の光沢をおびた黒い斑紋を持つ。

### 国内分布

北海道、本州、四国、九州。

### 県内分布

白山市（旧白峰村）、羽咋市滝町、中能登町能登部で記録があるが、羽咋市と中能登町では、現在も生息しているかどうか不明である。

### 生態

砂浜や河原の砂地に生息し、本県では成虫は6~8月頃に見られる。夜行性で、昼間は砂地に浅く潜り、夜間は砂地の上を活発に走り回る。灯火にも飛来する。

### 生息地の条件

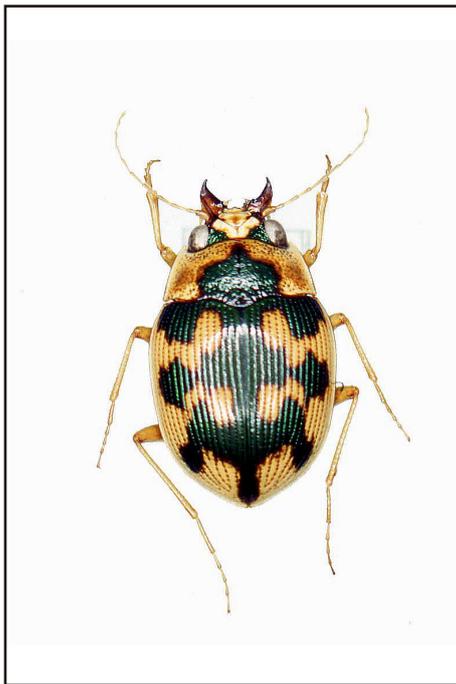
本県では、小川川がそそぎ込む砂浜の周辺および大河川の河川敷にある安定した砂地帯に生息している。

### 生存の危機

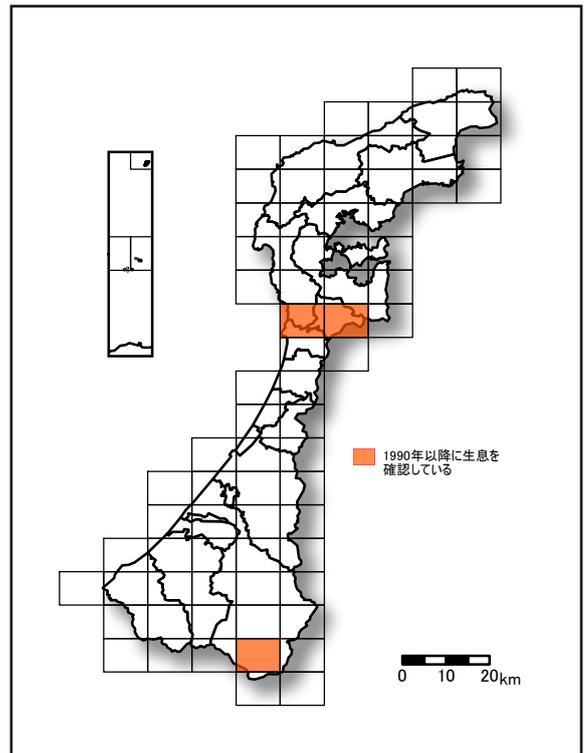
生息地が局所的なこともあって生息基盤は脆弱である。本種の生息地は、砂浜の整備や開発、河川の砂地帯の減少等で消滅しつつあり、現在、生息が確認されているのは1箇所のみである。(A)

### 参考文献

高羽正治 1998. コウチュウ目カワラゴミムシ科. 石川県の昆虫: 103. 石川県自然保護課.



標本提供者: 井村正行



県内の分布